

お知らせ

- [生物多様性研究棟「もりの展示ルーム」を夏休みに一般開放](#)
- [第4回子ども樹木博士認定会開催](#)
- [多摩森林科学園森林講座開講（第3回）](#)
- [公開シンポジウムのお知らせ「森林、海洋におけるCO2収支研究最前線」](#)

● **生物多様性研究棟「もりの展示ルーム」を夏休みに一般開放**

夏休み期間中（7月23日～8月29日）の月、水、金曜日、午前9時から12時、午後1時から4時の間「もりの展示ルーム」を一般の方々へ開放します。ポリネオの巨大セミ、世界一大きなカミキリムシ、世界一小さなカミキリムシ、天然記念物アマミノクロウサギ（剥製）、世界一重い木・世界一軽い木など盛りだくさんの展示です。もちろん最新の生物多様性の研究情報などもパネル展示しています。予約不要、無料です。家族やお友達をお誘いの上、おいで下さい。つくばの研究所を巡るスタンブラリー「つくばちびっ子博士（つくば市主催）」の会場にもなっています。



「もりの展示ルーム」（生物多様性研究棟）

● **第4回「子ども樹木博士」認定会の開催**

子ども樹木博士認定活動推進協議会の活動の一環として、「子ども樹木博士」認定会を今年度も森林総合研究所の樹木園で開催します。樹木にふれ名前を知ることを通じて、子どもたちが森林や自然に関心を深めること、そして子どもと親との会話の機会を提供することが「子ども樹木博士」の活動の目的です。この認定会は、名前をおぼえた樹木の数に合わせて樹木博士の実力が認定され、段位認定証がもらえます。樹木の名前を1種類おぼえれば10級、2種類おぼえれば9級です。11種類で初段、20種類以上で二段、40種類の全問正解で四段です。認定会へ応募した子供たちには40種類の樹木の写真入りテキストが事前に配布され、当所樹木園で自習できます。認定会当日は、当所研究員と一緒に樹木園を巡りながら40種類の樹木について見分けるポイントを勉強し、その後、同伴家族も含め一緒に認定試験へ臨みます。

日 時： 8月24日（日）  
 午前の部 9時～12時（募集人数30名）  
 午後の部 1時30分～4時30分（募集人数30名）  
 場 所： 森林総合研究所 樹木園（つくば市松の里1番地）  
 対 象： 小・中学生及び同伴家族  
 参加費： 無料  
 申込み・問い合わせ先： 研究情報科広報係  
 Tel：029-873-3211（内）227

昨年度は全国95ヶ所の会場で約3,200名の子供たちが樹木博士に挑戦しました。ちなみに森林総合研究所の会場では34名が樹木博士に認定されました。みんなの挑戦を待っています。



昨年の子ども樹木博士の様子

● **多摩森林科学園森林講座開講（第3回）**

多摩森林科学園では園内の「森の科学館」で、毎月1回「森林講座」を開講しています。第3回目の森林講座は、8月19日（火）開講の「木材を気体で変身～環境に優しい木材処理法～」です。どうぞお気軽に、多摩森林科学園までお申し込み下さい。

● **木材を気体で変身～環境に優しい木材処理法～**

気体で木材を処理することにより短時間で環境に優しく木材を変身させる方法を紹介いたします。

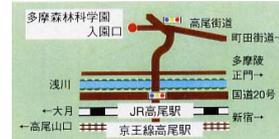
◆ 講師  
 瀬戸山幸一（木材改質研究領域長）

● **受講料は無料ですが、入園料として、大人300円、子供50円（小～高校生）が必要です。**

● 申し込み方法：  
 往復はがきにて、ご希望の講座名、住所、氏名、年齢、職業、電話番号をお書きの上、下記宛先へお申し込み下さい。申し込みの受付は、講座日の2週間前までです。

● 申込先・問い合わせ先：  
 〒193-0843 東京都八王子市甘里町1833-81  
 多摩森林科学園 Tel. 0426-61-0200

● 交通  
 JR中央線・京王線高尾駅北口から徒歩約10分



● **公開シンポジウムのお知らせ「森林、海洋におけるCO2収支研究最前線」**

● **開催趣旨**

IPCC（気候変動に関する政府間パネル）によると、大気中の二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）濃度は1750年以降31%増加しましたが、最近20年間の人為起源によるCO<sub>2</sub>排出の約4分の3は化石燃料の燃焼、残りの大半が森林減少によるものとされています。さらに、人為起源によるCO<sub>2</sub>排出量の約半分が陸域（ほぼ森林）と海洋で吸収され、90年代における大気中CO<sub>2</sub>濃度の年増加率の変動（0.9ppm～2.8ppm）の大部分は、気候変動が陸域と海洋におけるCO<sub>2</sub>の吸収・放出に及ぼした影響によるものであるとIPCCは推測しています。このように、大気CO<sub>2</sub>濃度の変動を理解しその将来を考える上で、森林と海洋のCO<sub>2</sub>収支の詳細な解明が重要な課題であることは今さらいうまでもないことでしょう。

しかし、土壌を含む森林生態系でのCO<sub>2</sub>吸収・放出（呼吸・分解）過程には非常に多くの要因が相互に関連しており、そのメカニズムには未解明の部分が多いのが現状です。さらに、京都議定書への対応として、森林のCO<sub>2</sub>吸収量を算出するための科学的データの充実に求められています。一方、海洋によるCO<sub>2</sub>吸収・放出は大気と海洋表層のCO<sub>2</sub>分圧差によるものですが、これに大きく関与する生物プロセス—すなわち藻類、貝類、サンゴ類等の炭素収支についてはほとんど未解明の状態といえるものでした。

これらの問題に対応するため、（独）森林総合研究所と（独）水産総合研究センターは平成11年度より4年間、プロジェクト研究「森林、海洋等におけるCO<sub>2</sub>収支の評価の高度化」注1）を実施し、各分野で幾つかの新しい知見を得ました。そのため、それらの成果を紹介し、多くの方々に森林、海洋のCO<sub>2</sub>収支研究の現状と将来展望について理解を深めていただくことを目的として公開シンポジウムを開催いたします。また、森林、海洋におけるCO<sub>2</sub>収支研究の果たすべき役割について、広範な視点から議論いただきたいと考えています。

注1）本プロジェクト（平成11～14年）は、農林水産省農林水産技術会議の環境研究プロジェクトの一環として平成11年度より開始されたもので、平成13年度より研究機関の独立行政法人化にともない、独立行政法人の交付金プロジェクトへ移行しました。

● 日時：平成15年9月29日（月）10時～17時

● 会場：東京大学農学部弥生講堂・一条ホール（東京都文京区弥生1-1-1東京大学農学部）

● 主催：独立行政法人森林総合研究所  
 独立行政法人水産総合研究センター

● 事務局：独立行政法人森林総合研究所  
 「CO<sub>2</sub>収支プロジェクトチーム」

● 連絡先 植物生態研究領域長 石塚森吉  
 Tel.029-873-3211（内線493）

● 参加範囲：大学・研究機関、行政部局、民間企業、一般市民、マスメディア、ほか

● プログラムの予定  
 シンポジウム  
 「森林、海洋におけるCO<sub>2</sub>収支研究最前線」

10時開始  
 開催挨拶 森林総合研究所理事長  
 趣旨説明 プロジェクトチームリーダー  
 基調講演（森林） 神戸大学大学院教授 金澤洋一  
 （海洋） 東京大学海洋研究所所長 小池勲夫

森林のCO<sub>2</sub>収支研究 6題  
 森林総合研究所 サプリリーダー他  
 海洋のCO<sub>2</sub>収支研究 5題  
 水産総合研究センター サプリリーダー他

総合討論  
 「森林、海洋におけるCO<sub>2</sub>収支研究の課題」

17時終了